

「支えるこころ」 「つながるこころ |

-「立ち上がるこころ |

会員になっていただいた個人・団体の方からの貴重な会費や寄付金を財源としていろいろな事業を行っています。

精神保健福祉協会は「支えるこころ」と「つながるこころ」と「立ち上がるこころ」が手を取り合える環境づくりを目指しています。21世紀はこころの世紀です。是非あなたも精神保健福祉協会の会員になって下さい。

会員の皆様には機関紙「こころの健康」(年1回発行)を 送付しております。皆様のご協力をお願い致します。



会費(年額)

正会員	個人会員1口	1,000円(1口以上)
	団体会員1口	10,000円(1口以上)
賛助会員	個人会員1口	1,000円(1口以上)
	団体会員1口	10,000円(1口以上)

お申し込みについては、協会までご連絡下さい。



岡山県精神保健福祉センター内に事務局があります。



JR岡山駅から

【バス】岡電バス/両備バス/下電バス <行き>JR岡山駅~中庄駅・倉敷駅・東花尻方面 「中庄駅」「倉敷駅」「東花尻」行きのいずれかへ乗車 「光生病院前」あるいは「厚生町商工会議所前」停留所下車 徒歩2分

<帰り>

厚生町商工会議所前〜天満屋経由岡山駅行き 【タクシー】約10分 【徒歩】約30分

◆ 一般社団法人 岡山県精神保健福祉協会

〒700-0985

岡山県岡山市北区厚生町三丁目3番1号

岡山県精神保健福祉センター内

TEL: 086-201-0441 FAX: 086-201-0443

E-mail: desk@okayama-mental.jpn.org
URL: http://okayama-mental.jpn.org/





○目的

- 1.精神保健福祉活動の推進
- 2.すべての県民のメンタルヘルスの向上
- 3.精神保健福祉に関する情報の紹介
- 4.精神保健福祉の利用者、かかわる人々のつながりの促進

岡山県精神保健福祉協会の役割は二つあります。ひ とつは、社会のなかで人と人とが互いを支えていくこと が出来にくくなった時に生じる、心の悩みや孤立感を救 うための活動を支援することです。

もうひとつは、精神保健福祉事業を推進し、精神障害への理解を進めるとともに、偏見や差別を克服していく活動を支援することです。精神保健は全ての人々にとって大事なことです。互いに支え合える心豊かな社会をつくっていきましょう。



もゆみ

- ◎ 昭和38年(1963年)
 精神保健福祉事業の推進と県民のメンタルヘルスの向上を目指して、精神衛生協会として発足
- ◎ 昭和56年(1981年) 国際連合が障がい者の「完全参加と平等」のために 1983年~1992年を「国際障がい者の10年」として、 世界各国に行動計画作成・推進を提唱。 それに伴い、実行団体として「岡山県国際障害者年 精神障害者推進委員会」を発足させ10年間 (昭和56年~平成2年)啓発・広報活動を展開。
- 平成2年(1990年)社団法人岡山県精神保健福祉協会に改組
- ◎ 平成25年(2013年)一般社団法人岡山県精神保健福祉協会に改組

*たれまでの主な活動

- ◎ 障がい者との共生促進への取り組み
 - ・「これでよいのか『欠格条項』を見て―心を病む人々の 社会への完全参加と平等のために一」発行
 - ・体験記「今、生きる一心の病気を克服して」出版
 - ・心の美術展の開催(平成8年~平成27年)
- ◎ 東日本大震災支援活動(募金と応援メッセージ)
 - ・こころの笑顔プロジェクト 東北三県の精神保健福祉協会に向けて
- ◎ 障がい者の生活応援のための調査研究活動
 - ・精神障がい単身者の生活調査
 - ・精神障がい者の地域支援に向けての 社会資源の基礎調査
 - ・精神科病院の入院患者へのアドボケーター 派遣事業とその効果

現在の事業内容

- ◎ 精神保健福祉大会(年1回実施)
 - ・精神保健福祉を支えてきた功労者の表彰
 - ·記念講演
 - ・作業所などの作品・物品販売
 - ・チャリティーバザー
- ◎ 精神障がい者スポーツ教室・交流事業の開催
- ◎ 機関誌「こころの健康」発行
- ◎ メンタルヘルスの活性化に向けての調査研究

4組織の案内(主なもの)

- ◎ 精神保健推進委員会◆精神保健福祉大会の企画・運営
 - ・普及啓発事業の企画
- ◎スポーツ振興委員会
- ・スポーツ教室・交流事業の企画・運営
-)広報·編集委員会
- ・機関誌「こころの健康」編集
- ・ホームページの活性化
- ・広報事業の企画

